

民族学者・文化人類学者の梅  
 棹忠夫さん（1920～201  
 0年）にちなんだ「梅棹忠夫・  
 山と探検文学賞」（同賞委員会  
 主催、信濃毎日新聞社など協賛）  
 の第2回受賞作に、中村保さん  
 （78）＝東京都の「最後の辺境  
 チベットのアルプス」（東京  
 新聞）が選ばれた。10日までに、  
 同委員会が中村さんに伝えた。

## 第2回「梅棹忠夫・山と探検文学賞」

### 中村保さん「最後の辺境 チベットのアルプス」に

間にわたり30回以上、探検を繰  
 り返してきた。成果を内外の雑  
 誌で発表し、秩父宮記念山岳賞、  
 英国王立地理学協会の「バスク  
 ・メダル」を受賞した。

2005年までに、「ヒマラ  
 ヤの東」（山と溪谷社）などの  
 3部作を刊行。「最後の辺境」  
 はその「完結編」と位置づけ、

05年以降7年間の踏査や研究、  
 世界各地での講演などをまとめ  
 た。6000級級の未踏峰を含  
 む山々の姿や、メコン川など大  
 河の上流部がつくる深い峡谷な  
 どの地形を解説。「チベットの  
 アルプス」と呼ぶ美しい山々の  
 写真や地図を入れ、知られざる  
 世界を紹介している。

自らを「元企業戦士のキセル  
 登山家」「老年探検隊」と呼ぶ  
 中村さん。梅棹賞の受賞の知ら  
 せに「約20年の踏査や研究の集  
 大成である本書で、尊敬する大  
 先輩の梅棹さんの名前を冠した  
 賞をいただけるのは光栄であ  
 り、励みになる」と話している。

同賞は世界各地を探検し、独  
 自の文明論を展開した梅棹さん  
 の姿勢を受け継ぐ狙いで、10年  
 に創設。第1回の受賞作は角幡  
 唯介さんの「空白の五マイル」  
 （集英社）。今回は11～12年に  
 刊行された約30点から選んだ。

中村保さん



中村保著「最後の  
 辺境 チベッ  
 トのアルプス」